City of Sapporo

スポーツのチカラ × まちのミライ

THE POWER OF SPORTS × FUTURE OF THE CITY

vol.48

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。
そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。このようなスポーツによるまちづくりについて、株式会社ULUCUS PARK代表取締役CEOの赤坂慧さんにお話を伺いました。



マルチスポーツを通じたまちづくり バスクの幸せの形を未来の北海道で

株式会社ULUCUS PARK 代表取締役CEO
赤坂 慧 さん

1988年生まれ、東京都出身。「まちづくりは教育から、教育は12歳以下の身体づくりから」というスペイン・バスク州のモデルを学び、縁もゆかりもない北海道で、12歳以下の身体づくりを起点としたマルチスポーツ教育と30年後のまちづくりに挑む。

皆が生き生きと暮らすまちの原点は「12歳以下の身体づくり」だった

大学時代、まちづくりを学ぶ中で訪れたスペインのバスク州で、人生を揺さぶる光景に出会いました。まち全体が幸福感に包まれ、誰もが生き生きと暮らしている。その原点をたどると、「12歳以下の身体づくり」に地域全体で投資している事実に行き着きました。一方日本では、良い教育サービスが溢れているのに、子どもの自己肯定感や体力スコアは低下し続けています。この危機感から、「競技のためではない、人間形成の土台をつくるためのスポーツを」と決意。北海道へ渡り全財産を投じて、12歳以下の子どもを対象としたマルチスポーツ施設「ULUCUS PARK」を開設しました。

教育の前に身体という土台をつくる地域で支える仕組みを、札幌から

ここでは勝敗は追わず、多様な運動に食や睡眠の習慣づくりを加えたプログラムで、挑戦心や生きる力を育みます。運動嫌いだった子が半年ほどで意欲的になり、勉強の集中力も続くようになる。そんな変化に立ち会ってきました。また、企業や行政との共創も進行中です。福利厚生の一環として月謝の補助や店舗を送迎バスの拠点に活用するなど企業との連携が広がり、来年度は道内自治体の体育授業にも参画予定です。12歳以下の身体づくりは、未来への最高の投資であり、子どもたちへの最大のギフトです。だから私たちは、一生の土台となるこの仕組みを広く普及させたい。スポーツを通じた教育の「前」をつくる挑戦は、ここ札幌から始まっています。

SAPPORO

食や自然など多くの魅力に恵まれた
「笑顔になれる街」さっぽろを
イメージしたロゴ「サッポロスマイル」です

公式 Instagram

「ULUCUS PARK」については
HPとInstagramをチェックして

HP

Instagram